

近畿建設リサイクル表彰	会 長 賞
受 賞 者	大林道路（株）大阪支店、奥村組土木興業（株）環境開発本部、東亜道路工業（株）関西支社、（株）NIPPO 関西支店、佐野正典（近畿大学）
所 在 地	大阪府
受 賞 テ ー マ	排水性舗装混合物の 100%リサイクル技術の研究

【取組概要】

・溶融しにくいアスファルトを含む混合廃材であっても、すべてを再び混合物用材料とする新しいリサイクル技術を確立するための研究を実施した。

・混合物製造小型実験機による検討の結果、再生粗骨材中にアスファルト量を1%程度以下にすれば、ふるい分け処理がしやすく、分級や粒度調整が正確に行える、再生用添加剤と古いアスファルトの混合もしやすくなる、また新規骨材用ドライヤでの加熱が可能になることが分かった。

・再生骨材のアスファルト量を少なくする方法としては、アスファルト量ゼロの添加材(新しい砂または粉)と加熱混合する方式と、コンクリート再生骨材の製造のために開発された磨砕機を用いてアスファルト分を分離除去する方式が採用可能なことが分かった。

・両方式で製造した再生粗骨材は、排水性舗装の表層、すなわちポーラスアスファルト混合物用骨材として使用可能なことを、国道 43 号線および国道 28 号線での試験施工により確認した。

・再生粗骨材をふるい分けた後の細粒分も、排水性舗装の基層など、種々のアスファルト混合物の材料として利用可能なことを、室内実験及び国道 28 号線での試験施工で確認した。

【評価】

・ほとんど再資源化されていない排水性舗装廃材を100%再資源化するための研究を全国的にも早い段階(平成17年度)で着手し、また成果を得ており、先鞭性に特に優れた取り組みである。



再生排水性舗装の試験施工



浸透水量調査